

三箇校区福祉だより

三箇校区福祉委員会 No.8

しあわせ
福祉広げて

共に学び共に生き



[編集・発行] 三箇校区福祉委員会 〒574-0077 大東市三箇4丁目1番5号 (電話) 072-873-8878

12月の行事予定

第6回(12月)まちかど喫茶

《日時》 12月 24日 (木) 午前11時~午後3時

《場所》 三箇自治会館

ご来店をお待ちしています

《サロンの内容》

★お茶、コーヒーなどを飲みながらの「語らいや交流」

★お楽しみコーナー (午後1時~2時)

『クリスマス会を行います』



《お知らせ》

★お弁当は用意していませんので、必要な方は各々持参してください。

(おにぎり程度の軽食は用意しています。)

★お茶、コーヒー、茶菓子は、福祉委員会で準備しています。

★車いすをご利用されている方など、介護タクシーが必要な場合は、

当委員会で手配しますので、下記の連絡先又は担当の民生委員に連絡してください。

多くの方の参加をお待ちしています！ お誘い合せご参加ください！

[連絡先] 873-8878 (三箇自治会館) 三箇校区福祉委員会事務局

元気でまっせ体操

《開催日》 12月 2日(水)

12月 9日(水)

12月16日(水)

[三箇自治会館]

午前10時～11時30分

[新和町自治会館]

午後1時～2時30分

(※ 都合で中止になる場合があります。)

元気でまっせ交流会

11月10日(火)午後1時30分から大東市民会館「キラリエホール」で「平成27年度元気でまっせ交流会」が開催されました。参加者全員で元気でまっせ体操を行った後、表彰式があり、当委員会の『三箇グループ』と『新和町グループ』が活動10年目を迎えたグループとして表彰を受けました。

また、三箇グループは、模範演技でオリジナルの「鉄人28号体操」を披露し、日頃の活動の成果を発表しました。



(表彰)三箇グループ



(表彰)新和町グループ



鉄人28号体操



平成27年度 第3回子育てサロン

《とき》平成27年12月16日(水) 午前10時～11時30分

《場所》三箇自治会館 2階

《対象》0歳児から就学前の子どもとその保護者



こんにちは

中部包括です！！



どんどん冷え込んできましたが、みなさんインフルエンザの予防接種はすまされましたか。インフルエンザの予防接種は、接種後2～4週間で効果が見られ、5 か月間効果が続きます。このため、10月末から12月までに受けておく必要があります。

また、今年から1回の予防接種に含まれるワクチンが3種類から4種類になりました。毎年、いったんA型インフルエンザが流行した後、B型が遅れて流行する傾向があったので、B型がもう1種類追加になりました。ちなみに、A型には、2009年に流行して問題になった新型インフルエンザが季節型インフルエンザとしてワクチンに含まれています。



65歳以上の方は大東市から助成がありますので、受けられる方はぜひ主治医の先生に相談してみてください。それでは、元気によいお年をお迎えください。

(寄稿) 大東市中部地域包括支援センター 保健師 志村いづみ



10月6日(火)の校区福祉委員会役員会議で三箇小学校の長谷教頭より案内のあった学校公開に10月27日(火)に行かせていただきました。10時30分に学校に行き、校長先生と教頭先生に挨拶し、校内の授業を見てまわりました。

校舎内に入り、まず思ったことは、とても清潔感があるということ。多分、児童が毎日掃除をしていると思いますが、とてもきれいで大切に使用していることが分かりました。

6年生の教室の窓には、広島での修学旅行の様子を壁新聞で報告していて、写真・イラストあり、楽しかった様子がよく分かりました。

4年生のクラスはパソコン教室で1人1台のパソコンを使い、地球温暖化・環境について調べていました。

地域の相談員として、さまざまな方と交流していきたいと思い、今回、学校公開に行かせていただきました。今後も皆さんの身近なところで活動していきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

10月から東田と交代してCSWとして活動しています。よろしくお願いいたします。

(寄稿) コミュニティソーシャルワーカー(CSW)

和光苑 齊藤めぐみ

認知症700万人以上の時代に思う・・・

先日、市民研究会より「幻の三箇城は大東市三箇6丁目大畑にある。」との研究発表がありました。

現在、菅原神社境内に三箇城跡地の石碑が建っていますが、文献の洗い出しと聞き取り調査を行うと、三箇6丁目大畑付近に石碑があったことを示す文献や証言を得たとのこと。当時の三箇地域を記した文献と地域住民の記憶をたどり、つなげていく「幻の三箇城」探しは、昔を偲び、現在から過去へさかのぼる時間旅行であり、とても魅力的で注目や協力を得られやすいと思います。

さて、同じ時間旅行でも魅力的だと悠長なことを言っている場合ではない問題が全国各地で起こっています。「直近の出来事を覚えていない」、「帰る場所や時間がわからなくなる」、「判断力・理解力が衰える」などの症状がでる「認知症」の問題です。

認知症にかかると「話のつじつまが合わない」、「〇〇さんに物を盗られた」、「慣れた道でも迷うことがある」などの症状が現われます。そのような症状に対して、うまく対応できなくなると人間関係がこじれ、本人、周囲の人のストレスが高まる生活が続くこととなります。

職業柄、認知症に関わる講演を聞きますが、ある精神科医の先生から聞いた一言は、とても印象深く残っています。その一言とは、「認知症の方は、現在から過去の出来事を思い出すとき、所々の場面や言葉を思い出すことはできますが、記憶と記憶のつながりを思い出せないのです。認知症の方は、欠落した記憶に対して不安を感じ、記憶と記憶の間にある、つながりを捜そうとしています。だから、あちらへ行き、こちらへ行くと、失われた記憶を捜し求める旅をしたり、何回も同じことを尋ねたりするのですよ。」という内容です。

10年後、65歳以上の5人に1人が認知症にかかると言われています。そのような時代を乗り越えるには、「幻の三箇城」探しで行われた時間旅行のように、認知症の方の記憶をたどり、温かい眼差しで一緒になって「失われた記憶、つながりを捜す」ことが必要になると感じています。

サンタクロースが温かい眼差しでプレゼントを配る12月、「福祉委員会だより」を一読された皆様のご協力のもと、高齢者の心が温まる見守り活動を進めてまいりたいと思います。

(寄稿) 大東市社会福祉協議会 稲田圭郁